

編纂委員

委員長

大口第一尋常高等小學校長
大口第二尋常高等小學校長

長 谷 川

次

副委員長

大口第一尋常高等小學校長
大口第二尋常高等小學校長

井 上

源

委員

伊藤

吾

委員

水野

亮

全員

吉田

雄

全員

倉地

深

全員

酒井鐵

曇

全員

酒井鐵

郎

全員

酒井鐵

郎

大口村史

目次

二、大口村地圖

第一章 位置及面積

第二章 地勢及地質

第三章 氣象

第四節 溫度及天候

第五節 天災地變

第六節 入鹿池堤防の決潰

第七節 明治四十五年の雹雪調査

第八節 大正元年風害調査

第九節 昭和三年霜害調査

第十章 名稱沿革

第十一節 各大字の起原沿革

第十二節 大字豊田

第十三節 大字秋田

第十四節 大字大屋敷

第十五節 大字小口

五、大字河北	三
六、大字萩島	一
七、大字余野	毛
	天

第五章 行政

第一節 區分

第二節 戶數・人口

第三節 年次別人口及戶數調

第四節 年次別結婚出產死亡調

第五節 人口動態統計一覽表

第六節 大字別戶數人口表

第七節 國勢調査に於ける本村世帶及人口表

第八節 行政

第九節 議政

第十節 租稅と財政

第十一節 救恤と褒賞

第十二節 村政功勞者

第十三節 道路

第十四節 河川溝渠

第十五節 車輛

一	四
二	四
三	四
四	四
五	四
六	三
七	三
八	三
九	三
十	三
十一	三
十二	三
十三	三
十四	三
十五	三

第六章 交通及通信

第一節 道路

第二節 河川溝渠

第三節 車輛

一	四
二	四
三	四
四	四
五	四

第四節 郵便・電話・電信

一四

<h3 style="text-align: center;">第七章 產業</h3> <ul style="list-style-type: none"> 第一節 農業 一四 第二項 現代の農業 一四 第三項 田畠 [稻作] 一四 第四項 種苗業 一四 第五項 畜産業 一四 第二節 工業 一四 第一項 織物 一四 第二項 製絲業 一四 第三項 酿造業其の他 一四 第三節 商業 一四 第一項 金融機關 一四 第二項 保險 一四 第三項 保証責任小口信用購買利用組合 一四 第四節 產業組合 一四 第一項 保証責任小口信用購買利用組合 一四 第二項 有限責任余野信用販賣購買利用組合 一四 第三項 有限責任河島信用購買組合 一四 	<h3 style="text-align: center;">第五節 農會</h3> <ul style="list-style-type: none"> 第一項 農事改良實行組合 一四 第二項 養蠶實行組合 一四 第三項 養鷄・養豚其他の組合 一四
<h3 style="text-align: center;">第八章 教育</h3> <ul style="list-style-type: none"> 第一節 學校 一四 第一項 概說 一四 一、學制頒布以前の教育 一四 二、學制頒布以後の教育 一四 第二項 小學校 一四 一、大口第一尋常高等小學校 一四 二、大口第二尋常高等小學校 一四 第三項 實業補習學校 一四 一、大口第一農業補習學校 一四 二、大口第二農業補習學校 一四 	<h3 style="text-align: center;">第六節 各種組合</h3> <ul style="list-style-type: none"> 第一項 農事改良實行組合 一四 第二項 養蠶實行組合 一四 第三項 養鷄・養豚其他の組合 一四

第十一章 衛生		
第一節 大口村衛生組合 一四		
第二節 大口村衛生組合 一四		
第三節 帝國在鄉軍人會大口村分會 一四		
第九章 兵事		
第一節 概說 一四		
第二節 戰役從軍者及戰病死者 一四		
第三節 少年團及少年赤十字團 一四		
第十章 警察と消防		
第一節 警察 一四		
第二節 消防 一四		
第三節 消防 一四		
第四節 日本赤十字社大口村分區 一四		
愛國婦人會大口村委員會 一四		
第五節 大口村尚武會 一四		
第六節 軍人後援會大口村分會 一四		
海軍掖濟會大口村委員部 一四		
第七節 消防 一四		
第八節 警察 一四		
第九節 消防 一四		
第十節 警察 一四		
第十一節 消防 一四		
第十二節 神社 一四		
第一節 概說 一四		
第二節 神社と祭神 一四		
第三節 神社各說 一四		
第四節 產婆會 一四		
第一項 鄉社 一四		
第二項 村社 一四		
第一項 天神社 一四		
第二項 劍社 一四		
第一項 神福社 一四		
第二項 天神社 一四		
第一項 山神社 一四		
第二項 津島社 一四		
第一項 熊野社 一四		
第二項 天王社 一四		
第一項 王子社 一四		
第二項 誓訪社 一四		

一、三明社	四六
二、余野神社	四八
三、白山神社	四九
三、小口神社	五〇
四、神明社	五一
五、白山社	五二
六、清島神社	五三
七、神明社	五四
八、神明社	五四
第三項 無格社	五八
一、神明社	五八
二、神明社	五九
三、金刀比羅社	五九
四、津島社	五九
五、神明社	五九
第六項 踏濟宗	五九
一、吉祥山妙德寺	五九
二、大龍山德林寺	五九
三、福新山全德寺	五九
六、觀音堂(覺王寺受持)	五九
第三項 真宗	五九
一、小林山本光寺	五九
五、觀音堂(德林寺受持)	五九
第四項 淨土宗	五九
一、放光寺	五九
三、阿彌陀堂	五九
二、說教所	五九
第五項 真言宗	五九
一、陽學院	五九
三、阿彌陀堂	五九
一、天理教御供所宣教所	五九
第一節 概說	五九
第二節 寺院及境内佛堂	五九
第一項 曹洞	五九
一、大香山桂林寺	五九
二、地藏堂	五九
第三節 神道	五九
一、報德寺跡	五九
第二項 豊田に關する古跡	五九
第一項 秋田にあるもの	五九
一、長樂寺跡	五九
二、樂師堂跡	五九
三、辨財天跡	五九
四、白木地藏堂跡	五九
五、神の木觀音の跡	五九
六、うぢやま地藏堂跡	五九
七、名號碑跡	五九
第三項 大屋敷にあるもの	五六
一、十連寺跡	五六
二、大御堂跡	五六
第四項 余野にあるもの	五六
一、堂軒及かぢや畑	五六
第一項 豊田に在るもの	五六
第二項 豊田に在るもの	五六
第一節 総説	五六
第二節 名稱	五六
一、秋葉様	五六
二、大乃瀬の蟹	五六
三、長松寺尾州國開運護國三面大黒天	五六
四、長松寺目たゝき弘法	五六
五、萬長橋附近の蟹	五六
第三節 神社に關する古跡	五六
第一項 豊田に在るもの	五六
第一項 豊田に在るもの	五六
第二節 総説	五六
第三節 神社に關する古跡	五六
第一項 豊田に在るもの	五六
第二項 豊田に在るもの	五六
第一節 概説	五六
第二節 其他の教會	五六
一、御嶽教昭玉教會	五六
二、御嶽教	五六
三、高野山大師教會大口支部	五六
四、天臺宗寺門唯一惠印根本修驗教會支部	五六
五、辻觀音及辻地藏等	五六
第五節 墓地	五六
二、葦山宣教所	五七
三、尾國宣教所	五七
四、天理教丹羽宣教所	五七
五、光榮教會	五七
第四節 其他の教會	五七
一、御嶽教昭玉教會	五七
二、御嶽教	五七
三、高野山大師教會大口支部	五七
四、天臺宗寺門唯一惠印根本修驗教會支部	五七
五、辻觀音及辻地藏等	五七
第五節 墓地	五七
一、神明社跡	五八
第二項 大屋敷にあるもの	五八
一、縣社跡	五八
第三項 余野にあるもの	五八
一、余野神社跡	五八
第二項 豊田に在るもの	五八
一、長樂寺跡	五八
二、樂師堂跡	五八
三、辨財天跡	五八
四、白木地藏堂跡	五八
五、神の木觀音の跡	五八
六、うぢやま地藏堂跡	五八
七、名號碑跡	五八
第三項 大屋敷にあるもの	五六
一、十連寺跡	五六
二、大御堂跡	五六
第四項 余野にあるもの	五六
一、堂軒及かぢや畑	五六

二、五輪〔ごりん〕	五〇
三、徳林寺	五〇
第五項 中小口にあるもの	五〇
第六項 河北にあるもの	五〇
一、二ツ屋觀音跡	五〇
第五節 城趾・邸趾	五〇
第一項 豊田にあるもの	五〇
一、堀尾邸趾	五〇
二、堀尾井趾	五〇
第二項 余野にあるもの	五〇
一、小池屋敷	五〇
二、若ヶ橋〔和歌ヶ橋〕	五〇
第三項 上小口にあるもの	五〇
一、田中邸趾	五〇
第四項 中小口にあるもの	五〇
一、小口城趾及萬好軒	五〇
二、磨山〔丸山〕	五〇
三、お猿山	五〇
第六節 切支丹に關する古跡	五〇
第一項 余野にあるもの	五〇
第二項 秋田にあるもの	五〇
一、地藏様	五〇
二、櫻塚	五〇
三、火走り橋	五〇
四、同心塚	五〇
第三項 豊田にあるもの	五〇
一、岩木塚	五〇
二、岡田塚	五〇
三、おさのぎ塚	五〇
四、鎮塚	五〇
五、十三塚	五〇
第七節 其他の古跡	五〇
第一項 海渡	五〇
一、奉祿町	五〇
二、海渡	五〇

第四項 外坪にあるもの	六〇
一、十三塚	六〇
二、山伏塚	六〇
三、石亀塚	六〇
四、梶原松梶原宗安碑及太刀服部の紋	六〇
五、松	六〇
第五項 河北にあるもの	六〇
一、妙智庵	六〇
二、梶原宗安の太刀	六〇
三、オチヨボ塚	六〇
四、天神塚	六〇
第六項 余野にあるもの	六〇
一、元の木	六〇
二、權現山	六〇
三、おぢ神	六〇
四、ほり向へ	六〇
第七項 上小口にあるもの	六〇
一、念佛塚	六〇
二、割れ塚	六〇
三、善光寺塚	六〇
四、大日塚	六〇

五、万願寺塚	六一
六、小判の出た所	六一
七、万町橋のいわれ	六一
八、ひなやきのあと	六一
九、鼻塚〔萩島〕	六一
一〇、念佛塚	六一
一一、寺島	六一
一二、萩島焼跡	六一
一三、萩島本杉	六一
一四、くましる田	六一
第八項 中小口にあるもの	六三
一、五穀塚	六三
二、首塚	六三
三、山の神	六四
四、六部橋	六四
五、竹橋	六四
六、姥ヶ池	六四
七、荒井の梗	六四
八、入鹿暴水の碑	六四
第九項 下小口にあるもの	六七
一、曲玉様	六七

二、山の神	六七	第三節 冠婚葬祭	一
三、念佛塚	六七	第一項 婚禮及諸祝	一
四、伏蛇池	六七	第二項 賀壽	一
五、おさヶ淵	六七	第三項 葬祭	一
六、天王様の石臼	六八	第四項 氏神祭禮	一
七、字名について	六八	第五節 年中行事及休日	一
八、中山塚	六八	一、年中行事表	一
九、長塚	六八	二、やろか水	一
一〇、吟味塚	六八	三、山姥の傳説	一
一一、無名の塚	六八	四、やろか水	一
一二、其他の塚	六九	五、山姥の傳説	一
一三、出土品	六九	六、天候動物植物に對して歌ふ唄	一
		七、人に對して歌ふ歌	一
		八、石つり歌	一
		九、其の他	一
第一節 総説	一三	第七節 言ひ習はし	一
第二節 各説	一三	第八節 方言	一
一、織田廣近	一三		
二、堀尾吉晴	一三		
三、花橋春溪	一三		
四、仙田半耕	一三		

大口村誌

第一章 位置及面積

愛知縣の西北部、木津用水及び五條川の貫流する沃地、全村稻作に適し天惠の幸に浴する純朴の農村で名稱を大口村と唱へる。

東は羽黒村北は犬山町及扶桑村西は古知野町及布袋町南は東春日井郡小牧町に隣接してゐる。

地形は東北より西南に長く、中央で廣く宛かも木の葉に似てゐる。

北緯三十五度十八分九秒より三十五度二十一分二十二秒まで、東經百三十六度五十二分より百三十六度五十六分二十六秒までである。

本村の總面積は〇、七六三方里である。

大口村地目別土地面積次の通り